

I. 次の楽曲はベートーヴェン作曲、弦楽四重奏曲 op. 59 No.1 第1楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④は転回音程になるように、下に書かれている音の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。(3点×8=24点) (音程)

① 長6度	② 完全8度	③ 減5度	④ 増1度
⑤ 短7度	⑥ 長3度	⑦ 増9度 (loc1増2度)	⑧ 完全1度

(転回音程) (3点×4=12点)

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)

(a) ⑦を下属音とする和声短音階

(b) ①を主音とする長調の導音を第VI音とする長音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(3点×2=6点) 旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(c) ⑦を属音とする長音階

(d) ②を導音とする旋律短音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

- (1) 種類 減七の和音 転回形 基本形 (2) 種類 短三和音 転回形 第1転回形
 (3) 種類 長三和音 転回形 基本形 (4) 種類 属七の和音 転回形 第2転回形
 (5) 種類 減三和音 転回形 第1転回形

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[]に調名を、{ }に和音の種類を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。(a-c: 2点×4=8点, d: 1点×7=7点)

- a. (1)の和音の第五音を主音とする短調の《 同主調 》はへ長調である。
 b. (2)をII度の和音とする調の下属調は[変ホ長調]である。
 c. (3)を下属和音とする調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を平行調とする調の属調は[嬰ハ短調]である。

d. 和声短音階の音階上に行ける三和音の種類をそれぞれ答えなさい。

- I { 短三和音 } II { 減三和音 } III { 増三和音 } IV { 短三和音 }
 V { 長三和音 } VI { 長三和音 } VII { 減三和音 }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。(1点×7=7点)

Vivace	8
piacevole	5
meno mosso	9
tempo giusto	13
rusticana	10
giocoso	11
ad libitum	2

- 意味: 1. なめらかに 8. 活発に速く
 2. 自由に 9. 今までより遅く
 3. 上品に 10. 素朴に
 4. 自由な速度で 11. おどけて
 5. 愛らしく 12. 決然と
 6. 悲しげに 13. 正確な速さで
 7. 急速に 14. 今までより速く

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(2点×6=12点)

A

B

C (イ)

(ろ)

(い) (に)

A ハ短調 B イ長調

C (い) ニ短調 (ろ) 変ロ長調

(は) ト短調 (に) ハ短調